



国民の森林・国有林

広報

か

な

ぎ

津軽森林管理署 金木支署

No 201

2010. 9. 14

海岸林の研修会の実施

8月4日(水)、地域発案システムの一環として、当支署のボランティア巡視員・薪炭共用林組合及び支署等の25名は、屏風山保安林周辺地域の研修会を実施しました。

最初に当支署長の挨拶から始まり海岸林の成り立ちを説明、続いて最終氷期埋没林、ベンセ湿原、高山小公園より展望し、屏風山保安林の床固工事、植栽工事を視察しました。

当日は、当支署のある金木町は雨が降りだし天候が心配されましたが、研修会は晴れ男がいたため？行く先で晴れ、予定通り順調でした。

参加者は、森林の様子と波浪などによる被害から海岸を防護する工事を見学でき、大変喜んでいました。



森と湖に親しむ集い

☆「森林教室」の実施☆

7月27日(火)、小泊ダムにおいて、中泊町、西北地域県民局及び当支署による「森と湖に親しむ集い」を実施しました。

当支署は、丸太切り、樹種当てクイズ、土壌の役割について、小泊小学校4・5年生38人に実施しました。



床固工事の説明



樹種当てクイズ



丸太切り

037-0202

青森県五所川原市 金木町芦野200-498

TEL(代)0173-53-3115・FAX 0173-53-3197・IP 050-3160-5875

「広報かなぎ」はホームページでご覧いただけます。(URL:<http://www.kanagi-kokuyurin.jp>)

平成22年度金木支署 安全大会開催

7月7日(水)、国有林野事業安全週間スローガン『安全は 一歩先読む ゆとりから 慌てず焦らず 無災害』の下に当金木支署の安全大会が開催されました。

安全大会では、当支署長の挨拶、東北森林管理局長のメッセージ、安全標語入選作品発表及び表彰、五所川原警察署による交通安全講話及び(有)下山自動車整備工場による車両の点検講習が行われ、続いて職員代表による「安全宣言」が力強く宣言されました。

22年度安全標語入選作品は次のとおりです。職員の皆さんの多数の応募ありがとうございました。『9月13日現在、無災害記録 5,276日継続中』



最優秀作品

「股バンド 使って防ごう 切創災害」

(喜良市、熊谷 優)

入選作品

「慣れと油断がケガのもと 初心を忘れず 安全作業」 (小泊、今 純一)

「退避の確認 上下左右 声かけあってもう一度 ひとりひとりが点検者」

(署内、金澤 裕子)

「一声かけて 小さな気配り 大きな安心 みんなで守るぞ 無災害」

(署内、下山 莉恵)

「小さな油断でおおきな災害 初心にかえって 安全作業」

(署内、葛西 麻衣子)



「刈払機用股バンド」着用現地研修会へ講師を派遣



7月6日(火)、野辺地町スギ造林地において、19の事業体及び森林管理署等から51名が参加し、林材業労働災害防止協会青森県支部及び三八分会主催による「刈払機用の股バンド」着用現地研修会が行われました。(刈払機用の災害防止バンドを通称「股バンド」という)。

当日は、林災防青森支部の最上専務理事の挨拶の後、講師として派遣した当支署職員の斎藤販売係長と喜良市森林事務所の熊谷さんから、「林業労働災害は依然として多く、その中でも刈払機による災害はチェーンソーに次いで発生件数が多い状況にあります。刈払機の災害は「キックバック」による事例が多く、その防止対策

の一つとして「股バンド」の着用があります」と説明し、続けて「股バンド」着用による安全に対する効果、着用事例及び実演等を行いました。